鹿児島の元気地域紹介!!

共生・協働の地域社会づくり

NPO法人　メダカの学校かごしま

TEL&FAX 099（257）8143

自然を大切に。できる人ができることを

鹿児島市郡山岳町にある「岳（たけ）の池」。NPO法人メダカの学校かごしま（以下「メダカの学校」）が、およそ8年前から地元の方々と一緒になって作り上げた自然観察池です。ここでは、絶滅危惧種に指定されているメダカなど、年間を通じてさまざまな生き物や植物を観察することができます。今年3月には、県の助成事業を活用して、池やその周辺に生息する生き物を紹介した案内板を設置しました。いくつ見つけられるか、親子揃ってぜひチャレンジしてみてください。

メダカの学校は、現在事務局長である池田博幸さんが中心となって平成2年5月に設立されました。以来、鹿児島市内を流れる甲突川での自然観察会や、県内各地での音楽会「メダカのコンサート」、メダカなど水中にすむ生き物の生態を紹介する写真展の開催など、さまざまな活動を通じて「自然を大切に」というメッセージを発信してきました。平成24年8月には、全国で同様の活動を続ける仲間が鹿児島に集まって行われた「第12回全国めだかシンポジウム」を主催するなど、身近なところから全国まで幅広い活動を続けています。

地元の方々も一緒になって定期的に池の整備をしています

「多くの人、特に子どもたちに自然への関心をもってもらうこと。そして、親子で、将来にわたって自然環境を守っていくことの大切さを考えてもらうことが一番大切だと思います」と語るのは久本勝紘理事長。理事長自身も、かつて新聞記者として発足当初のメダカの学校を取材し、その理念に共感。当時から一緒になって活動をしてきました。

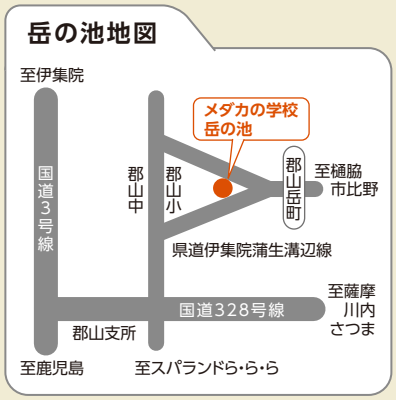
その活動の中心的な場である甲突川。川全体の自然を守る活動につなげていくため、源流がある郡山に学校の拠点を作ることが一つの大きな目標でした。それが冒頭に紹介したメダカの学校の本校「岳の池」です。休耕田を整備し「池」にしていくという作業には、毎回地元自治会の方々が参加しました。メダカの学校も地元の夏祭りや鬼火焚き、運動会などに参加しながら自治会の方々との交流を続けています。

会員の皆さんで案内板を設置しました

「これからも決して独りよがりになることなく、できる人ができることを、地元の方々と一緒になって続けていきたい」と語る久本理事長。

メダカの学校は、郡山岳町、同市喜入一倉町のほか志布志市や南さつま市などに"分校"があり、それぞれの場所で自然を守る活動が行われています。

入学金もなく、入退校は自由です。みなさんも、メダカの学校を「そ～っとのぞいて」みてはいかがでしょうか。



代表者からひとこと

理事長の久本（ひさもと） 勝紘（かつひろ）さん

子どもたちには、遊び心をもちながら楽しく自然とふれあってほしいと思います。

共生・協働の地域社会づくりやNPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課（県庁9階）　TEL 099（286）2241
◎共生・協働センター（かごしま県民交流センター内）　TEL 099（221）6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働（NPO・ボランティア）」にも掲載しています。